
夏の贈り物

宗像竜子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏の贈り物

【コード】

N9716M

【作者名】

宗像竜子

【あらすじ】

ある夏休み的一幕。今年も僕は。
20世紀最後の夏に寄せて書いた小話です。

不意に、涼しい風が吹き抜けた。

「気持ちいい」

隣でぐったりと机の上につ伏していたヨルが、少し首を起こすと、大きな目を細めてため息混じりにそんな事を言う。

「しよわしよわと、遠くでセミの鳴き声がある。大気が暑くて重い、夏の午後。」

「何だ、起きていたんだ」

てつきり寝ているんだとばかり思っていた僕が声をかけると、ヨルはむっとした顔になる。

「起きてたよ。そういうヨウは、よくこんな暑い中で平気だな」

乱暴な口調。性別こそ女に属するヨルだけど、さっぱりとした性格とその口調、そして服装なんかでまるで男みたいだ。

時々共通の友達とかがからかい半分に、男の割にどちらかというくらいに、と大人しい僕と中身を取り替えたらいんじゃないか、などと言うくらいに。

もっとも、僕もヨルもそんな自分を気に入っているから、そういう冗談は笑ってかわす事になっているんだけど。

それはさておき。

ヨルの明け透けなその言葉に嘘はない。

事実 僕の部屋は、茹だるような暑さ。確か今日の最高気温は35。そこまでは行かなくても、それに準じた気温である事は間違いない。

生憎と僕の部屋にクーラーなどというものはない。窓を全開にして時折入ってくる風だけを空調代わりにしている有様だ。

「平気じゃないって。暑いよ、ちゃんと」

「そうかあ？」

疑いの眼差しが向けられる。

そりゃ、ヨルにみたいにぐったりしてないけど。これは単に体質ってやつだと思う。僕が暑さに対しては割と元気でいられるように、ヨルは僕よりも寒さに強い。

冬場、ぐるぐるに厚着する僕を、ヨルが鼻先で笑うのは毎年の恒例行事だ。

そっぴゃ、去年の夏もこんな会話をしていたような気もする。

「…どうでもいいんだけど、どうして暑いのにわざわざうちで宿題するかな」

そんなに暑い暑いというなら、自分のうちでクーラーでもかけてやった方がずつと能率的のように僕には思えた。

ちなみにヨルは僕のうちの真向かいに住んでいて、実に徒歩数秒という距離である。

「え〜…だつて、こっちの方が……」

ごにごによと語尾を濁らせて、ヨルは再び机に突っ伏した。僕より少し長めといった程度に短く切った髪が、さらりと揺れる。

「何だよ？」

変なヤツとか思いながら追求すると、ヨルは顔だけを持ち上げてへらりと笑って言い放った。

「…先生、付きだし？」

「……」

一気に脱力し、言葉すらもなくした僕をヨルは笑う。

こっぴつ時のヨルの笑顔は、妙に女の子っぽくて僕は面食らうのだ。

そうして。

結局今年の夏も、僕はお中元よろしくヨルの夏休みの課題を手伝うのだった。

(後書き)

こちらは2000年の夏に書いた暑中見舞いSSでした。

ヨルとヨウの二人には別に登場作品があったのですが、作者が何となく気に入っていない為に現在はお蔵入りとなっております。

季節的に丁度いいと思い、こちらだけ公開となりました。

そついや、続きとかないくせに、これに関してはやたらと設定をきつちり考えていた記憶があります(笑)

続編予定なしの短篇でちゃんと固有名詞がある辺り、わたしにしては珍しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9716m/>

夏の贈り物

2010年10月12日00時44分発行